はこの様な社会に置かれている自

静に判断し、行動しなければなり 分の立場を理解し、常に物事を冷

他人と共に働き、

青年でありますが、諸君を取り巻

仕感のある社会人として自立した

く現代社会はますます複雑化し、

の鍛練と良心的責任ある人間育成

の場でなければならないのです。

諸君は、すでに一人の立派な人

(1)

を維持するだけでなく、さらに発

的、無意識的に取得された人生観

るのです。

また諸君には、

期待するものです。しかし、反

四、成人するに従って、

人格者と

正しい判断、責任ある行動が要求

京都市北区小松原南町 TEL (463) 3281 (代)

印刷㈱吉川印刷工業所



年間でつちかったものをもってすれば、克服できないものはないと思う。 公立大学の入試がせまっていて、卒業の意味をかみしめるひまもないと思う。昨日までの学園生活 とは、異なった厳しい環境に負ける事なく雄々しく進んでいってほしい。先輩諸兄の、学園での六 生涯に良心教育を

一月七日、二十四期生は、諸先生、在校生に見送られて、我校を巣立って行った。目前には、

期生勇

躍旅立つ

校長 田 源

の人格として尊敬されることを希 的にも無意識的にも、自分が一個 人間は成長するに従って、意識 年はこの歴史の事実を認め、自分 の為に努力しなければなりませ の能力に常に挑戦し、自己の向上 って成長、発展して来ました。青 分自身を表現するという努力によ 適応し、その環境に働きかけ、自 る歴史の中で、その生きる環境に 人格にならなければなりません。 現在、未来にわた

だ単に知的開発だけでなく、意志一正しい結び合いによってできるも 复を持たなければならないという

与えていると思います。しかし、 **哈者として、良心的な義務感と貴一多くの障害が伴うこともしばしば** 育に要求されますから、 学校はた | 諸君自身が強調する、 人間関係の なる社会情勢、いかなる環境に於してくれました。 これは若い人々 されます。すなわち、各自はいか一地上を新にする人間の偉大さを示 ても、立派に切り抜けるだけのカーに生きる喜びと、未来開発の夢を て、自分の良心や義務感による一下さい。 この力量をつけることが学校教ないことも知っています。それは あります。 とその実践によるものです。しか のです。つまり、連帯意識の高揚 し、連帯感と責任ある行動には、 この喜びの実現は、一人では出来 に環境を変えて行く人格になって 幸いにして現代の宇宙開発は、 があって始めて知性がはたらき、 恐れず、自分の使命を喜び、 為に尽す人となって下さい。時に は祈る人であって下さい。祈る心 真の勇気と知恵がわいてくるので さい。自分の信念に生き、困難を

ことです。



次 との正しい調和が保たれていませ 今日の社会に於ては、人間と人間 の進歩と高度成長により発展した くずれてきています。この為に人 ん。さらに自然と人間との調和が

望し、また、あらゆる束縛から解しん。そして諸君を取巻く多くの試 放された自由な生き方や考え方を一練が、地獄となるのではなくて、 かえって自己形成の手段となる様 ととを強調します。それはキリス のです。私はキリストとそ良心の 教育者としての良き助言者である ないために、健康の維持が必要な 境の中で人間としての人格を失わ 健全な挑戦であり、 る精神力のたまものであり、より トに於てこそ、人間の精神的・良 心的葛藤が人間のみにある偉大な の様な大衆化・過密化した生活環

ること、すなわち十字架の死によ は健全な判断力を持ち、現代をよ って行おうとされたのです。諸君 て自分の身体のすべての血を捧げ 人格陶治であると、確信をもって り良くする精神の持主であって下 二の園に於ける精神的葛藤、そし れたのではありません。ゲッセマ くみな言葉で人類の救済にのぞま 言えるからです。キリストは、た 人間としての | 奇と、興味に満ち溢れていたので かって土星などに到達し、その情になるというのに、未だ不馴れと 卒業となった。高校時代の懐かし た時、最初の諸君の眼は、まるで一宙、と探査は進み、パイオニヤや ません。高2で諸君の担任となっ き」でも、「粋、粋」でもかまい せて戴いた、私の一言です。 う。いきいき、いきよう。 新入生の様に輝いていました。好 これば、諸君のアルパムに書か (19℃) 未だ一公転もしていない 卒業生の諸君、本当におめでと|算の正しさを今、 証明していき 「活き、活き」でも「生き、生 61 きいき生きよう

のです。

今日までいきているのです。

ガリレオのガリ観、輝く活力が

夜の空から、太陽系、銀河、宇

OMH

赤

和

す。因みに、海王星は発見されて

るの 50 味を、 ら、自然、活き活きと輝くでしょ 眼だけでなく、頭や身体も、興人類のもつ、未知への探究心が原きぬまま諸君を送り出すことにな、閉いた。紙の色も大分変っている 探究心を、持ち続けるな 報を難しく送って来ます。これもいう名目の下に、充分な指導もでさに、ふとそのころのアルバムを 動力でしょう。 こんな星や海底の事などを、考しとではある。 諸君が 卒業 する あるはずもない。 確か値段は五百

しょう。

きと科学や人間を、小さくはその一年の様に活動出来るでしょう。 文学が育ちました。大勢の過去の れ、妄想している間に、神話や天」ても、一人、一人の諸君が何かに、 を毎夜観察し、記録していたのは一き、生きるべきである。何事にで一教育は受けられたような気もす」は、私達はその河の流れに一時の 人自身を、さらに育てる事になっ 人達の興味に満ちた眼は、いきい | て生きてくれる時、活き活きと青 | 一年生であった。新制高校が出来| あたりまで走り廻った……。 ガリレオ(ITC)が木星の衛星一強は現役であるべきだし、活き活しかし、それはそれなりにチャンと一行く河の流れが君選であるなら 昔の人達は、まっ暗闇の夜に恐一活き」と躍ります。いくつになっ えている時、私の頭や心は「活き」と、新しく入学して来る中一は、 興味をもち、眼、即ち心を輝かせ 一生の中に現役はあっても、渡の先生達は、男女共学という教育る。

|て三年目か四年目である。当時|は、大変な年月が経ったもんであ

三十年前といえば、私は高校の一達四、五人と自転車に乗って屋島

名。卒業式の日は良い天気で、友

才になろうとしている。

|三十期生である。洛星も丁度三十|ス数は10クラスで、一学年約五百

円ほどだったと億メている。クラ

った。今更後悔しても仕様のない

し、もちろんカラーのページなど

されていた事が判り、その軌道計 有名ですが、最近、そのノートのし、現役であることも、活き活きる。だが何事も、 中に、海王星が一恒星として記録。生きる原動力になる。御健闘を祈っがとりえというようなのは考えも「うか。やがて河ば水を増し、ゆる 人はない。大学に浪人しても、勉一の仕方に面喰ったに違いない。し

ただ新しいだけ一影を映す岸辺の柳ででもあるだろ

H3C 赤澤

H 3 B 岩田 ませながら洛星を巣立って行く君一められて来ました。でもこれから

たい気持ちで一杯です。 しかし君達には、卒業の実感を

伸ばして行って下さい。

全力を挙げてぶつかって下さい。 待ちかまえています。共通一次が一るべく広く世の中を見て、狭い視の論本校にも怒涛の様に迫った時 終わって更に大学毎の二次試験、 じます。 見分の道は自分で選び、行動に

かりと進んで行って下さい。 は責任をもち、目的に向ってしっ 語言の未来に栄光あれ、 と祈っ

00000 00000

た中で、まるでとじこめられた人

ーグッドラ

ぶくろの破裂した深海魚じゃある

か知らない弱い我々が、突然最上

HIA

Ш

仁

美

担 任 מל

業式を迎えるようになりました。

卒業生の諸君おめでとう。中学

ば必ずや成果が得られることを信 ます。沈着に持てる力を出し切れ 礎の上に、努力の積み重ねがあり

六年間、でも今は身心共に立派な一中学高校は全人教育で、すべて一ゆれるポスターがやたらに目につ 業を聞いていたあの頃がつい最近|る割に自分に閉じこもっている つけ、緊張した顔つきで幾何の授しい」ということです。実力があけめぐりながら、 またたく間に過ぎ去った気もする一面に押し出して進んでぼしい。 のように思われるのに、早くも卒一人、自己PRが全く遠慮勝ちな場 に入学当時、真新しい制服を身には「もっと堂々と生きて行ってほ

合が多く、長所や特技はもっと前 今後の君達の将来に望みたいの

胸をはって進もう

"

K

ラ "

グ

HIB

沢先生と共に京大のあちこちをか 闘を祈った日。 一月十日共通一次試験初日、赤」ら手をさしのべて、彼等と握手を

君達24期生の健

し合ったものだった。

その異様な事態の中で一ないのかと思う程だ。▼しかし、

と騒がれこの世に下がる物なんて 多いに上るし、増税だ 金も値上げ、積雪量も は値上げだし、郵便料 われているが、パス代 ▼物価高、物価高とい

ば、流感にノックアウトされて、

いきたいものだが、右をみても左

達、ほんとうに心から拍手を送りは銘々がはっきりと自分の個性を一に押しかけたあの雪の日の京大八 青年に成長して希望に胸をふくら一の科目に偏らず努力することが求一安田聯堂事件等で東大入試が中止 それにはまだまだ自分をよく知 映画館の様な臭気の漂うトイレ、 試が頭をよぎった。 され、全国の俊鋭がこぞって京大 達もいる中で、君達はいつも通り二十四期生はすとぶる平穏に和気しある。▼ところで、少しでも先の 立て看板や比叡おろしにパタパタ *書を必死にめくっている他校生|ションでがなりたてる中を、君達|をみても赤札のパーゲンセールで くったくのない笑顔で我々を迎え てくれた。一瞬12年前の三月東大一てゆく…… く構内、共通一次用の問題集や参 窓ガラスが破れた校舎、場末の 一り、タオル ったチーム たときの反応に驚いた。 合い合いと胸をはって横内に入っ」ある我々は成績だ流感だとたわい 養部正門前でヘルメットをかぶ。熱が上がるべらいのものだから情 がって.....。 の連中が、 奮闘した。 も先輩達は立 授業に、 四年前はじめて中二で担任をし でマスクをしたセクトーけない。▼成績だけはインフレと ワークを含ずなとして、がるし腹は下るし、上がるといえ あの独特のイントネー そして今、京大では教 六年間、 洛星でつちか 我々学生にしてみれば、 成績は下 あの大雪の日とはち一のない事に話の花も咲かせていら

先輩方は共通一次を終えられて、

二次試験突入間近!大へんな事だ

れようが、今容卒業された24期の

かみしめる間もなく大きな試練がることも大切でしょう。そしてなっせ、それはやがて高校にもそして 野で進路を選ばないでほしいと念代。正常な状態での入試はありよ 時十二期生の担任だった自分は、 る予備校を利用して行われた。当はなし、 をされ、入試は京都市内に散在す うもなく、京大はパリケード封鎖ス、パタン、 雪の中を長靴をはき、傘を片手にプソディ、 近畿予備校や京都予備校を走りま一研合宿、 大学紛争の波が全国に押し寄 機動隊に厳重にガードされ けの人、 健演習、スクランプル、「八十八 者はそれぞれに次の学年へと一歩 まってくる 直に、明かるく、迫力をもってせ」お世話になった24期生の方々に栄 を残して巣立ってゆく。 えた。それから五年、プログレ 「ようしやるぞ」久しぶりに燃は空わるが、今春卒業された皆さ なつかしく大切な思い出か、先輩がいるから、と頼る事し ック、二十四期生く」。部に持ち上げられたら……、うき 九州旅行、北海道、宗」りである。まだ上があるさ、と そしてボヘミヤン・ラーさに、ペンを取る手も震えんばか 「なまはげ」、「傷だら」進む訳であって、その余りの重大 文化祭に、宗研に、素」ろうと思います。在校生の諸君、 暗誦例文、英文法基いて行かれる訳だが、我々残りの んは、洛星を離れ、大きく羽ばた 冠あれと祈ろうではないか。▼話

共通一次なる面倒な代物がこの。オリンを習い始め、そのまま部 々々が、次々と目の前を通り過ぎ▼しかし、人間、甘んじた人生を てゆくのを確かめては、我が影の一送っていていいわけがない。跨り 着く。ただ私は、小さな水の一滴一文化祭然り、体育祭然りである。 まあることを まいしとは思うが、クラブ然り、

事大海にたどり着き、希望の岸辺していた 先輩達が 第一線を 退か であったことを思う時、君達が無一の新聞局はどうなるのか、頼りに 水の流れに沿え得ないととが、まを持って生きよう!若さで苦難に 私も、その昔は河の流れの一滴|直いって筆者は不安である。来年 で残念に思うばかりで「打ち勝とう!▼何やら人生論めい た事に話がそれてしまったが、正

ある。

ポイジャーは、地球から何年もか。世に存在するようになって三年目長。音楽部と共に三年間を過して

を発見されんことを心より希うのれ、来季は?皆さん、新聞局に うな、私事の駄文で汚してしまっ たかった訳である。「衣笠」とい 優の手を!▼早い話、これが言い た罪は重い。反省しております。 フ神聖かつ公平な紙面を、このよ



使い古された言葉ではあるが、



チは春の若葉のままだったから…

かくいう僕もやりたいことが多一祭、

友達…

多

特にクラブは一にそのような余裕はないのです。

修理に懸命になっている人や、

をれに相対して、 木獅では爪の

人という他者を意識することは社

H3B 居川

答辞

がいた。互いにべったりよりかか動かした。しかし、学校には友人 った友ではない。 そういった感情は、いわゆる自我 者だけが実感する感情があった。 屈とは別に、そこには現場にいる 続けた。受験を試練と割り切る理 入学した時から入試体制に直面し 非とも語っておきたい。自分遺は 感じ、何を考え、そしてどう変っ な先の事のように思っていたが、 の確立とあいまって自分達をつき ていったかを卒業の時を迎え、是 いざ迎えてみると六年間という年 入学の時には、

卒業式など遥か

| 今日との頃である。 尊重しあった友が。そして友 ほんの一瞬だったように思 個性を 認めあ す。 この六年間

を信じて長い闘いの一歩を踏み出 なものになった。そして今は若さ が社会の一員だという認識は確か た。洛星という温室のような環境|年間存在した洛星という学校を去 会を意識することに発展していっ てもこれといった思い出もなく、 感じない。今になって、やはり何

感謝して結びとする。 常に支えて下さった関係各位にか一つやっておけばよかったとつ (奥田英貴)

洛星における H 3 A 野間 思い出 大事な時期でもある。その時期に 年のほんの一時期であるか、最も

かは大きなちがいがあると思う。

ートパイや音楽でもい

本菜まであと僅かに迫った今、 洛 う。(しようもない事を書いてし 星についての想い出は?と尋ねら の差とそあれ想い出が存在する。 が何時であっても、そこには印象 と立ち止り、後を見る時、 に浮かび上がるのは何故だろう。 希望を秘め、一途に進む者がふ 美術の課外授業が真先に脳裏 過去 まった ガ

間静の中に時折聞

でえる小鳥の鳴

からで、一度始めたならそれなり

ると、風どころではなく、想い出 た他愛ない世間話が、辺一面落築 らか?新緑の木の下で友人と交し 目校舎の重圧から逃れた解放感か 描いたスケッ でもやってしまわねばならない。 で後悔しなければそれでいいと思 552 いんじゃないだろうか。要は自分 H 3 C

天津

できる事が非常に嬉しく思われる」いようなこともいろいろさせても。な門をくぐっていく。

出発にあたって

はなく、一握りでも満足感を味わ

さらば洛星

H3D 鈴木

らった。しかし、数が多いだけで

えたので素直に暮んでいる。

と、ある頼りなさを覚えます。洛 時に磨まれたように今は思うので まうまでは戦おうという意志も同 恨も一通りではありません。しか い事もあったようです。まで、「「生生活」なんて絶対避けて欲し からです。今思うと余りに他愛な 星は六年間にわたって僕の生活の しその赤面がおぼろに昇華してし 一部であり、時にそのものだった とうとう出て行くのかと思う H3B 鬼頭 誠司 ず、ここぞと思ったら一心にガンは三つの成果を上げた。 やって遊ぶ一方に、真面目に熱中 パ。振り返ってみたら「白紙の学 することがなければ楽しさも半減 妙に人生論やみたけれど、パカ

H 3 D 日 西川

の中で自ら限界はあったが、自分らねばならない。しかし、自分の一さが身にしなる。誰もが夢を見るい。なぜなら、卒業は僕にとってその名も糜掛型水晶親時計KCK 長いようで短い。事実、あっというではありませんか。不退転の覚 それゆえ洛星に対して特に愛着もいたくないので、夢は見るもの 場合、改めて大年をふり返ってみのだけれど、追い続けるのには勇 う間に過ぎてしまった。人生七十 くづく感じる。六年という時間は いよいよ本業ということで、六一てはかりいた日々。それだから、 孝志 と、目を閉じたり、凍った世界に 悟を持って、今、明一へ一。 界を懐かしんだりする。夢を追お 閉じ篭り奏望の眼差しで明るい世 気がいる。自分が根性なしだと思 さである。何をするでもなく無っ は、六年の間になし得た事の少な るにあたって、心にひっかかる事 六年間という一つの期間を終え みたい夢を抱いた事。 験にあたり、自分の一生をかけて うに思う。そして最後は、大学受 何んとなく、

何かに打ち込んで充実するかどうけがえのないものだった。卒業式が過ぎ、口を開けたまま卒業式を の後校門を出る時は、ありがとう。迎えようとしています。皆それぞ が、こんな像にも、この六年はかったもので、アッという間に六年 繰り言を長々と述べてしまった 「光磁矢のごとし」とはよく言 H₃B 堀

今、この道を H3C 西村 康孝

って、年を経るにつれ、ますます

時間におこったことは、過去とい

優しく感じられるのかもしれませ

動場へ集まった。そして、先生が

埋やり置替えられたからで、その一ものを選べるからだ。勝負はそと一も空しい。六年間を振り返ってみものです。卒業というものはそう一かった。が、こつを覚え出した人 「埋もれた時受験という話題に無」ではない。多くの中からベターな「いるだけというのでは、あまりに」た感傷に浸る余裕はなかなかない の決心に責任を持って、無理してにしたくないような想い出がたくもしれません。ただ、私個人とし 気が多いととは決して思いこと一振り返ると、そこには風が吹いていかねばならない訳で、そういっは始まったのである。 さんある。クラブ、文化祭、体育では、押し寄せる厳しい現実の前 できる。昔、流行った歌のように一ただ、我々は次のページをうめて一注意事項等を言われた後、凧揚げ れない。けれども振り返ることは一そんなものではないでしょうか。 ない。時間に逆行することは許さ。最初の方を見てみる、思い出とは「入念に調整した自慢の風を手に連 いった機会を与えてくれるものか一達は、次々に凧を大空へと繰り出

ていた。これらすべてのものを胸 僕の中で非常に大きな位置を占め H 3 A 辈

代)に鮮明な想い出を作って卒業(ソサート、その他ことでは言えな。一意して、今卒業という一つの大き」でもできた、それが今のイメージ ただ人生の一つの分岐点(高校時)い人である。生徒会、クラブ、コーていかなければならないのだと決い学園です。意志さえあれば、何一少の不安があってもゴマかして忘っを中心に、理科は、文系で物理と だろう。けれど未知なる自分の道が自分の自我の確立期であったとしくとと。当然の事であって一番む は、自分自身のこの足で踏み固めとに気付きます。洛星はすばらしずかしい事なのだから。そして多ようしい。数学、国語は二次対策 草も喰うだろう。回わり道もする にこれからも歩き続けていく。道 本業に際して、洛星での六年間|心身共にベストの状態にもってい

洛皇での六年間は一体何だった。に洛皇を鍛えあげていって下さ いう意識に欠けていたことを反省 形造っているのは校長でも生徒部

7

ればH3でやや楽がで

やることです。 きます。あとは地道に

すると思う。何も賢いととに限らノネリ化した学校生活の中で、僕 の一年間の生活の間にめぐりあっで今一歩を踏み出します。希望をまでに残りを仕上げ 人間としての幅を何倍にもしたよ めた事。AFSによるアメリカで一路星でつくりあげた自分と、若さ一仕上げて下さい。十月 を教えてくれた。次に、見聞を広界への旅立ちです。ほくたちは、一教科、社会一教科は しさを知った事。グランドでひたす。「自分と友人」の世界から、 たいろんな人や出来事が、自分の一胸に、お互いがんばりましょう。 すら白球を追った中学生活がそれ一つらく厳しい「自分と社会」の世一思います。せめて理科 まず、一つの事に打込む素晴ら通りすぎることができぬ問題でアドバイス高三の

水晶親時計》

今になって、夢を追うことの大切もう一度やり直したいとは思わなとっては、極めて恐しい物である。 界が僕を待ち受けているからだ。 新しい出発であり、更に未知の世 この六年間は良かったけれど、 -201という代物である。

きる。これの導入により、時間厳一た数日前から仏壇の前で祈り続け お値段の方は三十二万円、……。一った人のほうが実力を発揮できた

思うこと

雅哉

奥田

いて。とにかく寝ること。そして「町白くない。早くやめるべきだ。

場の開え

すと、英語は学校を信じていれば アドバイス
各科目毎に述べま

は得だったようです。そして理科、

アドバイス試験前一週間につ

感想共通一次の勉強なんで何も

浩 でもなく、生徒一人一人であると一が、「自分はこの中で です。でも、それだけに、洛星を一後は。 します。後輩諸君、どうか積極的」たのがよかったみた |感想|| 二百人ぐらいの教室でした|| 社会はH2・1のときしっかりや れてしまえばよい。精神力です最一化学をとるより生物、地学が今年 い。(ただ、日田 一番かしこい」と思っ

んだろう。今思うに、多少ともマ 卒業するぼくたちにとって、卒で注意 すと、みじめになるの

業とは単に大学への通り道として H3B 木村 ≪卒業記念に 夏休みが大きな山だと と。冬休みにやろうな あとはよく復習するこ んてとんでもない話で

感想去年までとはち

今年の番贈品は、遅刻常習者にがって、特に国語と政経は難しかっ今年の番贈品は、遅刻常習者にがって、手応えのある問題が多か たと思う。

きる。これの導入により、時間般と数目前から仏聖の前で祈り続け、つんり含さりと見親が美して、いっちくメープとなってきて、現在の教皇もさらに、この方向でき、一分単位に時刻の設定がで、つけて行ったりした人がいる。ますから。賢そうな顔をする事。(瞬の数皇である。教皇は、我々の抱のもその一つである。か出ない。三種類の時間側を記憶やつ)をしたり、お守りを五つもす。早めに行きましょう、漫みまンド出身で、初の社会主義国出身向いて、世界の平和を呼びかけたか出ない。三種類の時間側を記憶やつ)をしたり、お守りを五つもす。早めに行きましょう、漫みまンド出身で、初の社会主義国出身向いて、世界の平和を呼びかけたり出し、一・五代以下の外上して、方追え(あの古典に出てくる)ます。参考書はお守りにはなりま、コハネ・パウロ=世は、ポーラーいう伝統を破り、世界の国々に出 守は、さらに守られる事になろう。た人もいるが、あまり意識しなか 一週間に一・五秒以内の狂いしに、方導え(あの古典に出てくる)アドバイス 試験会場へ行くの HaC 千葉 さん

手作りのタコ上げ(中二)

それは、クラブや勉強であっても。ことが、ましたときっと言うだろれがいろいろな思いを胸に秘めて、取り組んでいた「風づくり」の総る人も多く見うけられた。また中(目を通しておこう。普段は二次 人間は前向きにしか歩いて行けん。物を書いている時、何気なく」に固定し、張り糸、尾などを行けしびというととに関しても う変えることのできないものとな。五一六時間目が凧揚げになった。 いるのでしょうが、この限られた一決算をすることになった。 は屋休み中に、糸目を所定の位置一味わえた。また昔からの庶民の遊 午後の授業が始まった。みんななかった人も、自作の凧を十分に その日は、時間割変更によって一たくて走りまわる人もいたとか。 1月22日、中一は冬休み前からからない凧を手にして休憩してい には、先生が撮られる写真に写り 向きの勉強を。本番で時間があれ を取りなる。 凧が揚がった人も、また揚がら

の一点が君の進路を左右する。

ホッとした。ケアレスのみ注意!

んな日本語を話されるか楽しみで



最初はやはり掛からない凧が多

業日本史用語問題集。 慣れである。最後に一言、

緊張したが、逆にマー 感想一日目は意外と

います。

舒同

。会計として、五人で御健闘を祈

の人の青ざめた視線が楽しい) きしまりますし、現役を誇示でき ますと、震えます。側服を着ると引 アドバイス本番の事だけ書き H3A 山崎 さん 。おめでとう。生徒部長渡辺先生りがとうございました。

は、基本事項を全科目まんべんなず、されど悔るべからず。直前に アドバイス一次恐るるに足ら の時、特に威力を発揮してくれた。て されど侮るべからず。直前に H3D 岡路 さん いては手

を。国語:一度決めたら答えは変 で、一教科、 と理系の世界史。社会…倫社は授 は単純。理科…怖いのは文系物理 アドバイス 数学…カンでわかる答え H3A 仲尾 さん 一言のアドバイス 紙面が足りないの ある。 勢である。これらの諸問題解決の一 種々の経済問題等で、緊張した情 世界は核戦争の危機、食糧問題、 的・閉鎖的な面もあった。しかし、

感想共通一次は学力ではない、 **基**

えない。

者という立場から何らかの役割を ために、カトリック教会が、

アドバイス今回の

試験は特に選択科目に

する。

ろこんでいる。

H3B 増田

え

欲しかったが、 感想社会であと十点

一心よ

いことをすすめる。挽 が、悪くても悲観しな よければ甲し分ない 試の成績に関しては、 だったようだ。また、楔 よって点の開きが顕著

。常に初心を忘れないよう、健康

に気をつけて、頑張って下さい。

。来年は、

ばくが行きます。

たてて崩れ落ちるという、笑い話 上で、記者の一人が梯子から音を

ラトレー先生

副校長奥本先生

んこと

高橋さん

だ。いないとさみしいなあ。

・二十四期生はすばらしい学年

多少は驚かれたことで

もそのすさまじさに、

(中学は休日)の生徒

しょう。今年は昨年を

。がんばって少 食堂のおっちゃ

クが慎重になったように思われる

まった。

島はローマ

かてである。 ネ・パウロ』世が来日された。日 二月二十三日、ローマ教皇ヨハとうして、

感想実は、当日脳時計にイデオ|親しみ易く、スポーツマンで、劇 ンのゲージを書いておいた。物理一作家としてもすぐれた才能を持っ 者に近づ に言葉を交わし、病人、身体障害・災国への深い心の痛みと平和へのら入り、通路近くに並ぶ一人一人「崎を 訪問された、それは原郷被謁見される時、謁見場の最後部か 今回の訪日で、教皇は広島、長として、教皇はヴァチカンで一般 人々を慰めているのでする。 いているイメージとは違って実に て、教皇はヴァチカンで一般人々を慰めているのである。その気さくな教皇の一面がいるかである。

て、諸国の かにふれ

をおし進め、

第1日の朝担任の先生方の顔を見て た、教皇は日本語を特訓中で、としな目的である。 当日の朝担任の先生方の顔を見て た、教皇は日本語を特訓中で、としな目的である。 感想 さずがに前日は緊張したが かけられる という 事である。ま 和を訴える事は、教皇莇日の大き 7 阜 であり、 世界に平 立って全 被災地に

公会議以前の教会は、実は独善とって感慨深いものとなったであ 宗教一忘れさせてしまっている。 330 であり、 また物質主義は、精神的なものを 特に長崎は、切支丹殉教の霊地│これで新聞局をさる高■から。 我々は今日、人間の能力を絶対 て考えてみるのも良いと思う。教皇訪日を機に、一度宗教につ 合理主義に走っている。 また第二次世界大戦中ア 根 局長 スタッフ 中 I B 中B 寺谷一紀

二十四期生へ 祝電コ ナー

す。では「卒業生の方々に一言」。 ンタピューを試み、学校中そろっ うございます。 。お元気でク でほしい。 。くいのない人生を思いきり歩ん って下さい。 て卒業生への花むけとした次第で 学校のいろいろな方々に、一言イ 。心に裏表のない人生を歩んでい 祝電コーナーでは、新聞局員が 24 明生の皆さん、卒業おめでと | 。 六年間 じくろうさん。 仙元先生 上杉先生 遠麗生 下的公。 。おめでとうございます。 。おめでとう。また遊びに来て下 教室で言 った言葉を思い出して **芝**名生

。神はその栄光をわかつ聖者を欲 受付のおねえさんこと 甲(成) 生 中村佐紀子さん さい。生徒部のおねえさんこと 。最後まで、 。がんばって下さい。三蒲先生 。卒業おめでとう。 藤田(征)先生 。自分の道をしっかり歩んで下 。しっかりせんかいく村上先生 教務部長森住先生 ガンパレク 山根芳子さん 正木先生 發野先生 授与のハイライトシーンの舞台の一般でかと思われる激しさで、証書 式 世 ? ? 見

めての出席となる高一 設けられています。初 り、会場には専用席も せる報道陣は恒例とな 洛星の卒業式に押しよ たものでしたが、今や かないのか」と指摘し

。平凡ごを大切に。藤田行男先生|。二十四期生の前途を祝して方さ 先々代の数量パウロ六世が、教 なお順番は不同です。御協力あ一その進行とは全く関係のない人が 教会の外への活動が始|としては彼らの影響を受け、雰囲 を離れてはならないと ある高里の人 新聞局一同。 気をこわされたりすることのない 最良の状態とは言えません。我々 るのですが、卒業式の式の最中に と滑稽にも思え、おもしろくもあ もありました。 態度を持ち続けたいものです 舞台上で無秩序に歩きまわるのは 中三の人は来年をお楽しみに。 さて、この光景も傍観している

信徒を励まし、苦しむ 人化、社会、教会にじ 世界の各大陸に避い 卒 定 で 業

集後記

カゼでたおれて、てんやわんや。 「我、かくもたくみに演じたか

高日本 池田 (宗)、梅景、 由良、高IC 奥村 顧問 藤田行男先生 樋口孝男 **庶子木英毅** Ш

答山信夫先生

「学校の宣伝」「自分が写るか

景が練り広げられました。 も」「退屈な式の清凉剤」「前線 符を受けて、今年も写真の様な光 記者の活動見学」という我々の期

物

……彼らに年とって 局では以前に紙上で

我々は一個の商品でし